

世界史 授業 No.102 テーマQ.&A.プリント

1. 今日のテーマ・クエスチョン

ウィーン体制の目的と手段とは？

2. テーマ・アンサーのキーワードをピックアップ

※教科書該当ページ（P. 161・162）の中から見つけよう！

フランス革命とナポレオン戦争によって混乱したヨーロッパの（ 1 ）再建のため、1814～15年に、オスマン帝国をのぞく全ヨーロッパ諸国の代表が参加して、ウィーン会議がひらかれた。会議では、オーストリア外相（のち宰相）の（ 2 ）が議長となり、フランス代表タレーランのとなえた（ 3 ）を原則として、領土問題などが話しあわれた。

その結果、フランスやスペインで（ 4 ）が復活し、ロシア皇帝がポーランド王を兼ね、プロイセンが東西に領土を拡大した。イギリスはオランダからスリランカ（セイロン島）・ケープ植民地を獲得し、スイスは永世中立国となり、ドイツ地域には35の君主国と4自由市からなるドイツ連邦が組織された。

ウィーン会議で成立したヨーロッパの国際秩序をウィーン体制とよぶ。この体制を維持するため、1815年にロシア皇帝アレクサンドル1世は、キリスト教精神にもとづく（ 5 ）を提唱し、さらにイギリス・プロイセン・オーストリアと（ 6 ）を結んだ。

<記入欄>

1（ ） 2（ ） 3（ ）
4（ ） 5（ ） 6（ ）

3. 今日のテーマ・アンサー（テーマ・クエスチョンの答）確認

※今日のノートに取った内容や2.でピックアップしたキーワードを参考にしよう。

T. Q. 「ウィーン体制の目的と手段とは？」

T. A.

ウィーン体制は[①]戦争で混乱したヨーロッパの再建を目的とし、[②]と戦争を防止することを目指した。その手段は仏外相[③]が唱えた正統主義に代表されるような、正統主義と[④]（国民主義・民族主義）を抑圧する保守反動や、大国主義といった大国の利害中心の勢力均衡策であった。その結果として、[⑤]同盟、四国同盟といった国際組織も生まれた。

<記入欄>

① [] ② [] ③ []
④ [] ⑤ []

[] 年 [] H No. [] 氏名 []